

平成27年度

7月例会

新しい発想法
『未来デザイン考程』を
学ぼう！

日時:7月23日(木)19時00分~21時33分

場所:岡崎商工会議所大ホール

担当委員会:研修委員会

参加者数:97名



【例会内容】

7月23日に岡崎商工会議所大ホールにて愛知学院大学経営学部 的野宏成教授を講師に招いて「新しい発想法『未来デザイン考程』を学ぼう！」を開催しました。

『講義』では、まず、イノベータDNA発見モデルの解説がありました。革新的なビジネスアイデアの創出は、現状に異議を唱えたり、また、リスクをとる事から始まり、質問力、観察力、ネットワーク力、実験力、関連付け力が重要である、との説明がありました。

次に、問題の捉え方の解説があり、現状というのは、変えられるものの中で、創る問題が、最善の未来に影響する、と言及されました。

未来デザイン考程の目的は、何を実現したいかを見つける事であり、事業計画の前段階を重要視するとの説明がありました。また、未来デザイン考程の特徴としては、未来にいと仮定し、そこから今を見て考える方法で行い、情報生産技術と考程で構成されるという説明がありました。

さらに、ポアンカレ=ヘルムホルツの発見モデルを例にあげて発見までの過程としては、A没頭期で資料、読書、計算等で情報が多ければ多いほど、B潜伏期で様々な組み合わせができ、意味のある組み合わせが、C啓示期で示され、D証明期で検証・仕上げが行われると解説されました。最後に、未来デザイン考程のイメージ図で要点整理を行いました。

『演習』では、未来デザイン考程は7段階で構成しますが、今回は第1段階の理念設定を行いました。理念設定ではワークシートを用いて、何の為の新事業かを明らかにしました。ワークシートの作成過程は、①テーマを通じて何がしたいか記入、②重要なテーマに○を付けてランク付け、③グルーピング、④グループごとの文章を統合文にし、最も重要なものを1個選択、⑤心象図作成、⑥主文作成、の順序で行われました。

次に、自分が作ったワークシートを元にペアインタビューを行い、理解を深めました。質疑応答の時間では、的野講師が、参加者からの質問に答えて頂き、最後に閉会しました。長時間の研修にもかかわらず、皆さん、真剣に取り組んで頂きました。



【委員長所感】 研修委員会 加藤 賢一 委員長

自社経営の実践的・科学的な研修を行いたいという想いで、大学の先生を講師に迎え、未来デザイン考程モデルのワークシートを用いて、10年後20年後の自社の経営の安定成長を目指す研修を企画させて頂きました。

今回の例会の実施までは、未来デザイン考程の本質が本当に伝わるか？という不安もあり、研修委員会メンバーで、毎週金曜日に大学の授業に参加し、思考法とアプローチ、ワークの進め方の理解に努めました。それによって、研修委員会メンバーによるアテンダントのバックアップ体制、研修会後の的野講師の質問受付やセミナー等の参加出来るフォロー体制を用意させて頂きました。

しかし、例会の運営上、配慮不足・準備不足の点が少なからずあり、11月例会に反省点を活かしたいと思います。

個人的に、今回の例会の試みは手ごたえがありました。アイデアがどれだけ実現するか楽しみで、10年後20年後、YEGメンバーの事業の安定成長に繋がれば幸いです。